

健康な歯で感染予防

伊藤 克紀さん

郡山歯科医師会長



メッセージ

コロナ、伝えたいこと

郡山歯科医師会長の伊藤克紀さんは、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するためには口の健康を保つことも大切だと強調する。

日頃の手入れ意識して

口の健康維持がいかに大切かというところが、今回の新型コロナウイルスの問題で浮き彫りになっている。口の中が不潔なほど、新型コロナウイルスに感染しやすくなる。口腔内細菌が出すタンパク分解酵素が感染を促進してしまうためだ。歯周病だと感染症が重症化しやすくなることも分かっている。こんな

ときだからこそ、歯の健康に気を遣う必要がある。日本と海外では、歯の健康に対する考えが異なっている。日本では虫歯になると歯医者に行く。しかし、海外では虫歯ができないように歯医者に行く。すなわち歯科医院は、健康な人が健康を維持するために行く所だと認識されている。

歯の健康を保つことは新型コロナウイルスをはじめ、脳梗塞や動脈硬化などさまざまな病気を予防することにもつながる。日本でも口の衛生について考え直す必要があるのではないかと。歯を健康に保つには定期的に歯科医院に行くことに加え、家庭での虫歯予防が欠かせない。歯磨きだけではなく、砂糖の摂取量を把握したり、歯を強くするためにフッ化物配合歯磨き粉やキシリトール入り食品を活用したりするなど、普段から気を付けることが大切だ。各歯科医院では、受け付けに仕切りを取り付け、診療する際にはフェースシールドを着用、しっかりと滅菌した器具を使うなど新型コロナウイルスの感染防止策を徹底している。患者の健康を守るためにできる限りのことはしている。その一方で、患者が減っている歯科医院も多い。国や行政には、高騰している衛生用品の確保なども含め、なんらかの支援策を検討してほしい。

- ◎新型コロナウイルスの感染を防ぐために口腔ケアは大切
- ◎定期的な治療に加え、家庭でも虫歯予防を工夫して
- ◎国や行政は、患者の健康を守る歯科医院への支援を

いとう・かつのり 郡山市出身。日大歯学部卒。1995年に宝沢伊藤歯科医院を開業。2017年から郡山歯科医師会長。